やまがたの木のある暮らし・街づくり促進事業

(県産木エ品プロダクトコンペ開催事業)

(取組みの背景) 現状と課題

- ・スギ間伐材や広葉樹材を木工品等に活用し、森林整備の促進につなげることが必要である。 ・しかし、県内の木工品は、一部で産地形成がなされているものの、市場におけるシェアは極めて少ない現状にある。
- そのため、木工業者と連携しながら、県民への木の良さの理解を深め、県産木材の普及促進を図ることが必要である。

目指すべき木エ品の振興

◆事業内容◆

おらい

- 県産スギ等を積極利用した木工製品のコンテストを実施し、デザイン・品質のレベル向上を図る。
 - 優秀な作品を多様なチャンネルを通じて利用拡大を図り、木のある暮らしづくりを推進する。

取組み】

①県産木工品プロダクトコンペ

- 〇木工製品のコンテストを実施
- ・募集要件は、県産スギ材を主体とした製品で、商品として販 売可能なもの
 - ・テーマを決めて募集(県産農産品のPRマスコット等)
 - 〇審査委員会により優秀作品を選出
- O有識者による デザインアドバイス 実施

②県産木工品普及促進・販路拡大

募集要領等作成

募集準備

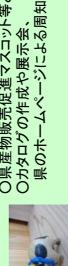
H27年 6月上旬

◆ メケジュー

○県産物販売促進マスコット等として活用 〇カタログの作成や展示会、

期間3ヶ月間

H27年 6月中旬



肾查委員会

H27年 9月中旬

ドザインアドバイス ·優秀作品選出

講評など

H27年 10月~

林業まつり会場等

- <mark>展示会開始</mark> 各地区展示会開催

◆効果◆

- 多くの県民が県産木製品に触れることで、材料としての木の良さ、森林の大切さを感じることができ、木の ある暮らしの普及促進を図るものである。
 - ・木エによる地場産業の振興、伝統技術の継承に結びつけるものである。
- ・木エ品のデザインによって、県産農産品等とのコラボレーションが可能となり、山形県のイメージアップ

(H27:事業費 300 千円) ナラ枯れ被害対策検証事業 (H27:事業費 6, 250 千円) 広葉樹林健全化促進事業

広葉樹林健全化促進事業

[目的]

ナラ枯れ対策として、広葉樹の伐採利用により「害虫の駆除」、「林の若返り」、「木材資源の有効活用」を促進するため、県が伐採搬出経費の一部を助成する。

【助成額】

助成額は、搬出材積 1m3 当たり 1,000 円で、さらに、大量集積型おとり丸太によるカシノナガキクイムシ(以下カシナガ)の誘引に協力する場合は、1箇所当たり 50,000 円を加算する。

ナラ枯れ被害対策検証事業

[目的]

合成集合フェロモンによる面的防除対策や専 門家による防除対策の効果検証

[事業概要

合成集合フェロモンの設置

(事業量:5箇所)

事業者が条件の不利なナラ枯れ被害林の伐採を計画する

カシノナガキクイムジの誘引に 協力。健全木を現地に3ヶ月

- 際に申請。 •被害率25%程度
- ·作業道開設150m/ha以上



平成27年度やまがた緑環境税を活用する森林整備関係事業等スケジュール

め用			補助金額の確定	次年度計画策			報告				やまがた	增刊号)
2月	完了検査			調査完 次			実績報告 補助金額の確定				●パネル展示 ●広報誌 (森林やまがた	
1月				間日		##				●検討会	. ●	完成看板の設置
12月			完了報告・権		調査完		北					完成看
11月		強 確 定 。				を森林等の把	実施状況報告	展示会等			卡	
10月		補助金交付決定 補助金額の確定	実施状況報告					表彰			●パネル展示	鮰
百6						中間報告		審査委員会表彰	9月(未	伊	がた)	施工中旗·看板設置
8月		補助金交付申請 検査	補助金交付申請 補助金交付決定			は 成果の把握 荒廃森林等の把握 一	a請 c定		追加募集	的防除の実加	広報誌 (森林やまがた)	新 日 日 中
7月			補助3			成果の 荒廃者	補助金交付申請 補助金交付決定	募集7月~		ロモンによる面的防除の実施		組)
6月		1	補助金内示		光光	発注	事業計画提出和計画報報報報	光光		合成フェロモ	パネル展示	(森林整備事業での取組)
5月		事業計画提出計画承認	推				事 福二		4/8~4/27	40	広報誌 ●/ (森林やまがた)	(森林整備
4	器			光					募集 4/8		●広報誌 (森林大	
农	県委託事業	長期育成林の 補助事業	里山林の 補助事業	面積 H27: 260 h a H28:1,000 h a	30カ所	県内全域	搬出支援 63,000m3	木工製品プロダ クトコンペの開 催	伐採搬出支援6,000m3	合成フェロモン の設置5箇所	パネル展示広報等による紹介	は大阪によるで加える有板設置等
項目	株本製	翎電跡	1,300ha	整備計画策定調査 (H27、H28協定分)	モニタリング調査	森林整備実態調査	森林資源循環 利用促進事業	たの木のある ・街づくり促進 事業	広葉樹林健全化 促進事業	ナラ枯れ被害対策検証事業	Q Q ₩ 冊	<u> </u>
		熊	森林緊急		l			やまが 暮らし	מ	+		